

【テーマ】

「業務の断捨離しませんか？

～コロナ禍を経て分かった不要な業務を捨てスマートに～」

【主催】事務システム分科会

活動報告

日時：2022年6月24日（金）15:00 -16:30

場所：オンライン分科会

出席者：39名

1. 研究内容

「業務の断捨離しませんか？～コロナ禍を経て分かった不要な業務を捨てスマートに～」をテーマとして、事務システム分科会主催のオンラインイベントを開催しました。

当日は、まずはじめに、分科会運営委員より参加者皆様に回答いただいた事前アンケート結果の説明があり、その後、グループに分かれての意見交換を行いました。今まで当たり前に行ってきた業務や仕事のやり方を、一度リセットして見直し、必要な業務と不要な業務の洗い出しなど、参加者同士で課題や事例の共有を行いました。（内容詳細については「3項概要レポート」をご参照下さい。）

2. スケジュール

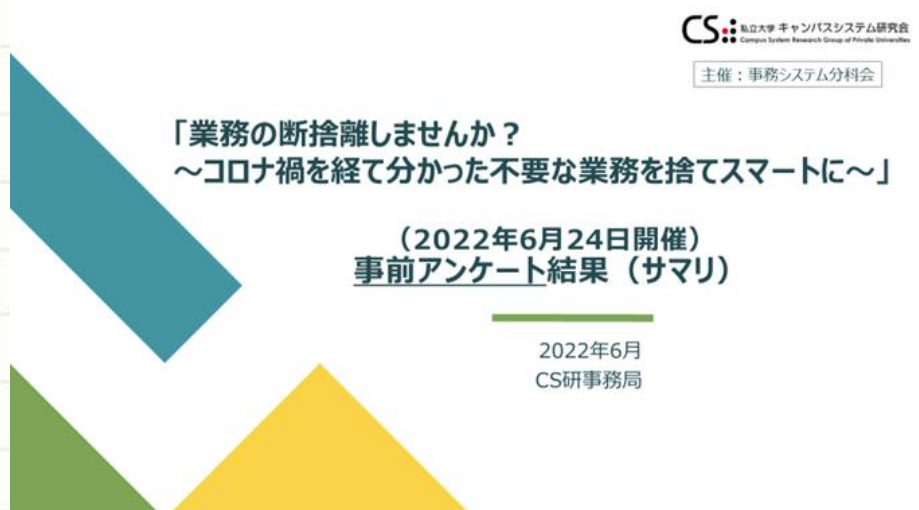
- | | |
|-------|--------------------------------|
| 15:00 | 分科会開始
○2022年度活動について |
| 15:15 | ○事前アンケート回答結果の共有
○グループでの意見交換 |
| 16:00 | ○各グループ意見交換内容の共有 |
| 16:30 | 分科会終了 |

業務の断捨離しませんか？ ～コロナ禍を経て分かった不要な業務を捨てスマートに～

私立大学キャンパスシステム研究会の2022年度第1回目となる事務システム分科会が、6月24日にオンラインで開催されました。事前に行った、業務の断捨離についてのアンケート結果を共有しながら、テーマごとに3つのグループに分かれて意見交換会を行い、今までの業務や仕事のやり方を見直すきっかけとしていただきました。

■ アンケート結果では、ペーパーレス化が進むもサポート増などの課題も浮き彫りに

まず分科会幹事の立正大学白川氏から、「事務システム分科会を情報交換の場として利用していただき、各大学の現場で活かしてほしい」と挨拶があり、今年度の活動予定をご説明しました。続けて幹事、運営委員、賛助会員の紹介の後、運営委員会の共立女子大学青木氏より事前に依頼したアンケートの結果をご説明しました。その中から一部をご紹介します。なお、アンケート結果は会員サイトからダウンロード可能です。



【設問1】コロナ禍で大きく変わった業務や仕組みがありましたら、以下のカテゴリでわかる範囲でお答えください。

(1) 学生対応・窓口

オンラインへの対応に切り替わったというコメントが多数。ただ現在はコロナ前の対面対応に戻ってきているという意見も。

(2) 業務運営

全ての回答者が、在宅勤務、会議のオンライン化について言及。業務改善の効果も大きかったのではないかと。

(3) 授業運営

オンライン/ハイフレックス授業への転換というキーワードが目立つ。一方でオンライン授業になりサポート量が増えた、これまで以上にインフラの安定性が求められるようになったとの意見も。

(4) 教務関係

回答数が少ない。教務関係ではあまり変化がなかったように見受けられる。

(5) その他

コロナ禍をきっかけに、デジタル化が進んでいるのが見て取れる。学内イベントのオンライン化、給与明細のペーパーレス化などの変化も。

【設問2】コロナ前には必要だったが、その後不要になった業務や仕組みはありますか？

圧倒的に多かったのが紙への印刷。ペーパーレス化はコロナ禍における業務の断捨離の好例の一つ。

【設問3】コロナ禍を経て増えてしまった業務や仕組みはありますか？

多かったのはオンライン授業や在宅勤務の環境整備・サポート業務。対面授業もあるため、現場では、サポートの負担が二重にかかっている。

【設問4】コロナ禍で業務の見直しに迫られた中、一番苦労した点は何ですか？

全問と同様のサポート業務のほかオンライン授業で対面授業のようにライブ感を出すこと、という意見もあった。

■テーマごとに3グループで意見交換会

その後3つのグループに分かれて意見交換会を行いました。約40分間にわたりコロナ禍で不要になった業務を共有した後、各テーマに沿ってディスカッションを行いました。

Aグループ：「印鑑フリー」学内文書の電子決裁ワークフロー

不要になった業務に関しては、オンラインに移行したため会議室や会議システムが不要になった、印刷枚数が劇的に減った、という意見がありました。キャンパス間の移動も減り効率化した部分もありますが、アンケートにあったようにサポートは逆に増えているようです。

「印鑑フリー」をテーマにそれぞれの学校の状況を紹介いただきましたが、一番盛り上がったのが電子決裁ワークフローの話題です。全くできていない学校もあれば、2008年くらいから導入して運用している学校もあり、実際に電子決裁システムの画面を共有していただき、説明してもらいました。電子化には、学内の文書規定の見直しも必要との意見もありました。

Bグループ：「窓口フリー」学生対応の窓口フリー化（チャットボット、オンラインサポート、オンラインでの証明書発行）

不要と分かった業務としてまず挙げたのが、印刷業務です。そのほか、物理的な移動が減った、Teamsの利用が定着し、チャットだけでなく資料の共有が効率的になったという意見もありました。

窓口フリーに関しては2つの議題が活発でした。1つ目はオンラインの証明書で、コンビニの証明書はランニングコストが課題という話や、デジタル証明書と言ってURLを発行して、電子上で証明書を閲覧するシステムを導入している事例も紹介してもらいました。2つ目がチャットボットです。AIだと聞いて導入したもの実際には回答集の作成やメンテナンスが大変で、あまり活用されていない学校が多いようです。例えば新生向け、在学生向けなど用途ごとに照準を絞ったチャットボットを設置することで、回答率を上げる工夫についても議論しました。

Cグループ：「働き場所フリー」在宅勤務、フリーアドレス

断捨離した業務については、会議のオンライン化のほか、申請書類関係が紙からWebになった等、ペーパーレス化が進んだ学校が多かったようです。

各大学から、働き方フリーに関して現状をご紹介いただきました。全職員にPCを配布した、スマホを業務で使っていたので活用できた、学内Wi-Fiの整備を進めた、VPNは導入済みだったのでBYODで自宅のPC利用を認めた、など大学によって様々でした。在宅勤務の割合もまちまちで、以前から制度がありテレワーク率30%を目指している学校もあれば、この7月から規定化した学校、コロナ禍で制度が整う前に在宅勤務がスタートし、現在も特に推奨はしていない学校もありました。在宅勤務の規定を、「自宅などで勤務するのは良いが、不特定多数の出入りのある喫茶店などでは不可」としている学校もあり、参考になりました。

4. 参加校 [13校19名] ・参加企業[3社20名] ・参加総数[39名]

亜細亜大学[1]
関西国際大学[3]
関東学院大学[1]
共立女子大学[2]
芝浦工業大学[2]
清泉女子大学[2]
専修大学[1]

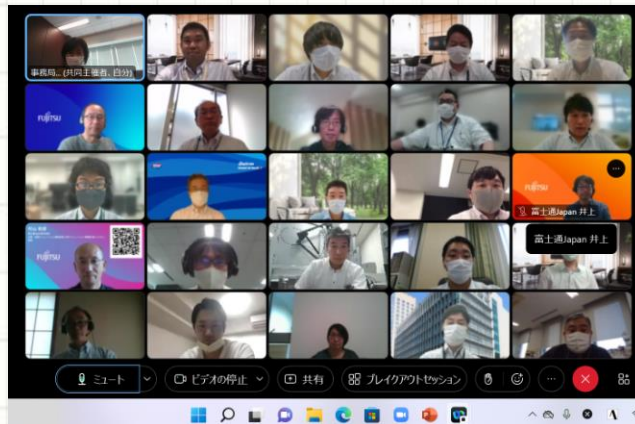
大東文化大学[1]
千葉工業大学[1]
日本女子大学[1]
立正大学[2]
山形大学[1]
個人参加[1]

ダイロン株式会社[3]
有限会社ハーティサービス[1]
富士通Japan株式会社[16]

5. 所感（事務システム分科会運営委員会）

今回、「業務の断捨離しませんか？～コロナ禍を経て分かった不要な業務を捨てスマートに～」をテーマに事前アンケートの内容を中心に情報共有を行い、各グループで主テーマを設定し意見交換討議を行いました。事前アンケートでは、「新型コロナウイルス」によって業務の根本を変えざるを得なくなったため、大幅に業務改革が進んだ一方で、新たな業務負荷も発生しており、各大学とも苦労している点が挙げられました。ただし、全体としては、従来の環境ではできなかったことが、一気に進めることができたといった前向きな意見も見受けられました。後半のグループにわかれての意見交換では、予め設定した3つのテーマのうち、興味のあるテーマのブレイクアウトセッショングループに入り、他大学との現状を聞く貴重な場として活用できました。テーマ設定もより具体的なものにすることで、各大学で課題としている内容の議論ができたと感じています。一方、昨年度から課題としている「十分な討議時間を確保できず、消化不良となってしまう。」点については、次回以降、討議時間と満足度のバランスについては検討が必要だと考えています。

【分科会の様子】



【事務局より】

次頁以降に開催後アンケート結果（抜粋版）を記載しています。

開催後のアンケート結果詳細版や当日プレゼン資料ご覧になりたい方は、「[CS研・IS研情報交換サイト](#)」に掲載しておりますのでそちらをご覧ください。また、今回の分科会開催に際し事前アンケートを行っています。事前アンケート結果につきましても、「[CS研・IS研情報交換サイト](#)」に掲載しております。

「CS研・IS研情報交換サイト」について

○CS研・IS研の会員向けに情報・資料をご提供し、会員の皆様で情報交換をする会員専用のサイトです。（新規入会ご希望の方は、右下の事務局まで、お手数ではありますがご連絡ください。）

URL : <https://www-std01.ufinity.jp/csisken/>

○情報交換サイトをご覧になるにはIDとパスワードが必要となります。お持ちでない場合は以下のサイトにてお申込みください。

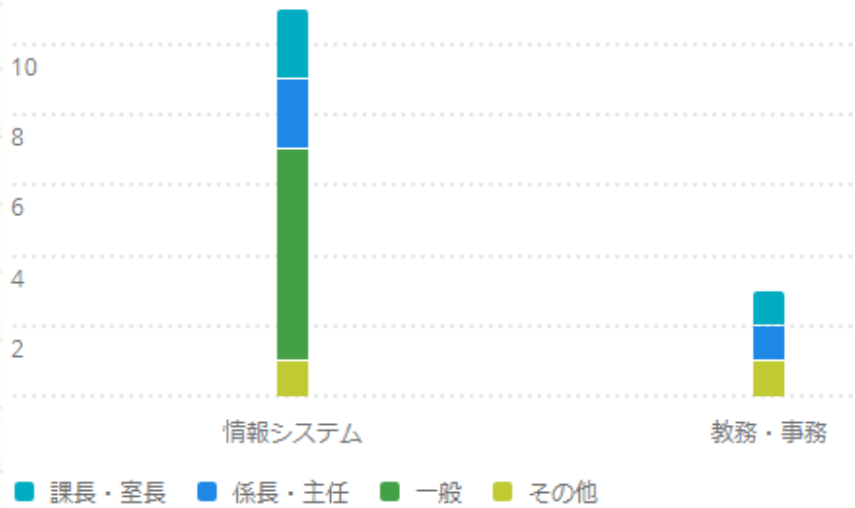
お申込みサイト : <https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/46757>

【連絡先】

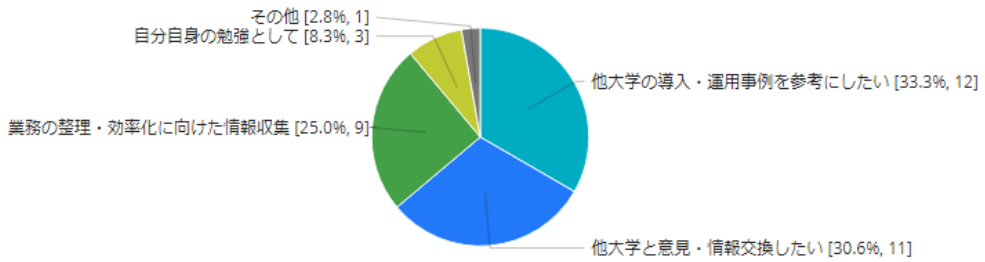
私立大学キャンパスシステム研究会 事務局
〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター
富士通Japan株式会社 戦略企画統括部内
E-mail : fj-csken-secretary@dl.jp.fujitsu.com

開催後アンケート結果 【回答数／対象者数：15／19（大学関係者のみ）】

■ 担当業務と役職について



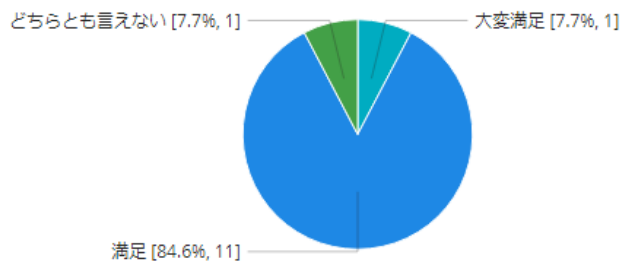
■ 参加した目的について



■ 他大学の導入・運用事例を参考にしたい ■ 他大学と意見・情報交換したい ■ 業務の整理・効率化に向けた情報収集 ■ 自分自身の勉強として ■ その他

その他の回答：運営委員として

■ 本日の分科会の全体満足度について

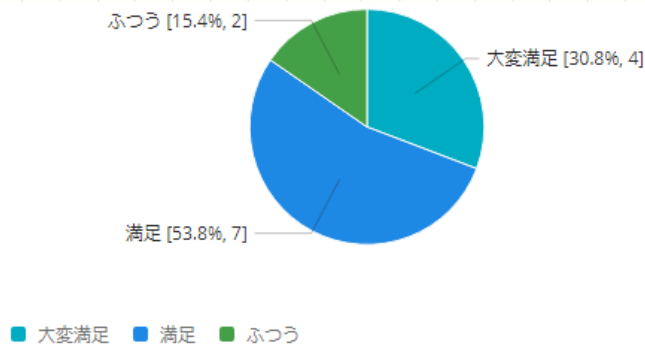


■ 大変満足 ■ 満足 ■ どちらとも言えない

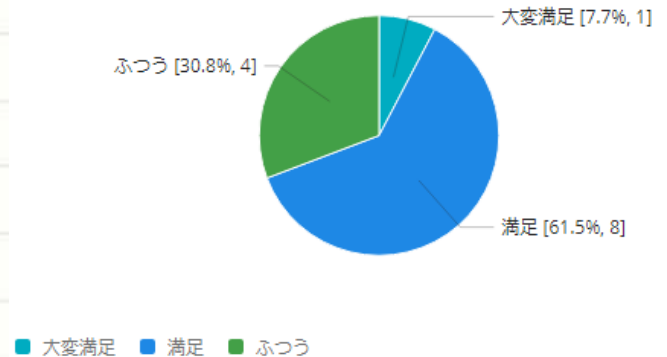
■ 全体満足度の評価理由について（抜粋）

- 他大で参加されている方にシステム担当者が多く、事例もそうだがどんなスタンスで勤務されているかがわかり、参考になる。
- 他大学の取り組みを聞くことが出来、運用上のポイントも理解が出来た。
- 他大学の事例が生で聞いた。
- スケジュールの関係上他大学様へのご質問をする時間が足りませんでした。
- 他大学との情報共有をする貴重な機会として満足するものでした。
- 他大学や一般企業での在宅勤務に関する状況、意見を収集することができた

■ 満足度 – 開催テーマについて



■ 満足度 – 意見交換について



■ 次回以降取り上げて欲しいテーマについて

- サービスを安定したクラウドサービス（Microsoft365やGoogle）に寄せていくこと。
- 情シスの年度末処理を簡単にしたい。富士通のような大きい会社ではどうやっているのか？大学と一般企業で共通した業務と思いますが、テーマとして取り上げにくいでしょうか？
- 実際の授業利用に関しての実例及び活用術等を取り上げて発表がみれると有難い。

■ CS研についてのご意見・ご要望について

- 他大学との有意義なディスカッションできるような工夫。
- 若手職員の参加。意見交換会は対面で。